

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

113号

2009年10月27日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 鞆の浦（広島県）景観訴訟 住民側勝訴

10月1日広島地裁で画期的な判決が出た。世界遺産に登録申請しているような歴史的・文化的景観を、交通の便利のための大掛かりな架橋によって破壊されることを憂えて地元住民が裁判に訴えたものだ。地裁の判決は住民に景観利益を認め、広島県知事の埋め立て免許を禁じた。国立訴訟では実効性がなかったが、今回の判決ははっきり県知事の裁量権を超えたとして差し止めた。国立の大西氏もあの最高裁判決から3年半で、このような判決が生まれたことに驚いている。残念だが広島市は控訴した。時代に逆行していると解ってはいるのだろうが、公共工事の名の下に、いわゆる箱物行政を行おうとするシステムは、なかなか一朝一夕では変わらないと見える。

○ 藤和マンション行政訴訟

10月20日（火）第4回口頭弁論が行われた。訴訟の利益の消失の問題・原告適格の問題、について原告の一人が意見陳述。次回も陳述できるかもしれないとのこと。訴えの間も工事を止めることはできず、前置主義のために何ヶ月もかけねばならない不合理をどう理屈をつけるのか、鞆の浦判決などに見られる景観重視の新しい流れを、常盤台では黙殺できるのか、次回までに被告側に求められた課題である。

次回 12月3日（木）11:00～

東京地裁 522号法廷

あなたの街のことです。傍聴に参加しましょう。毎回終わったあとに、弁護士から簡単ですが説明があり、内容がよく解ります。

○ 龍谷大学学生ふたたび来訪

鞆の浦の景観訴訟判決を受けて、現在進行中の常盤台の行政訴訟に対する影響を調べに、京都から龍谷大学法学部の学生達が訪れて来た。3月に続き今年二度目、通算では4回目となる。10月24日（土）10時半～中央図書館視聴覚室で米倉弁護士を交えて勉強会を開き、時間ぎりぎりまで熱心な質疑応答があった。

彼らが中心となって来年1月9日に京都龍谷大学において「国立から鞆の浦へ」と題するシンポジウムを開くそうだ。

○ 上野泰氏の「“あかり展” in ときわ台」が10月2日（金）～10月4日（日）に開かれました。普通の居住空間で展示したいという作者の希望により、Sさんのお宅をお借りしました。ご好意に感謝します。

柔らかな「あかり」が、ストレスの多い人々の心を暖めてくれれば、と言う上野さんの願いどおり、様々なフォルムの和紙を使った照明は、部屋を幻想的に照らしていました。

○ 景観法勉強会がありました

9月27日（日）、常盤台集会所（常盤台介護支援センター）2Fで「景観法の概要と仕組み」と題し、清水正俊さんのパワーポイントを使っての説明がありました。参加者から色々な質問が出ていました。次回も大勢の方が関心を持って参加するようになれば、常盤台のまちづくりも進展するでしょう。

現在の景観ガイドラインをステップアップする必要はありそうですが、地区計画にする案もあります。常盤台には何が一番適しているのか、判断するのは私たち住民です。

「文化財を散歩する」

図書館の前で板橋区の歴史を研究するグループが、「文化財を散歩する」という区のパンフレットを配っていました。

十月十八日～十一月二十日までを「いたばし文化財ふれあいウィーク」として、区内にある一四二件の文化財を訪ねる催しとのこと。「常盤台住宅マップ」も添えられ、登録文化財指定の斯波家の写真も載せられています。十月三十一日には氷川神社・常盤台住宅街・平和公園を解説者付きで散歩する史跡散歩もあるそうです。

常盤台には斯波家以外にも文化財に値する昭和初期の住宅が何軒も残っています。実際に住んでいる方はご苦労も多いでしょうが、常盤台全体の価値を高めているのです。

それにしても文化財的町並みとして評価している一方で、町並み破壊に手を貸している板橋区の姿勢は、矛盾に満ちていますね。

洗濯物は見えないところに

住宅地では布団や洗濯物を日に当てる場合、外観上から人目につかないよう気を配っています。常盤台では昔から不文律になっていたと思いますが、最近それを知らない人が増えたのか、アパートになると大家さんの注意が行き届かないのか、時々洗濯物が目に入ります。泥棒の目当てにもなるそうですから、なるべく人の目に触れぬ所に干しましょう。

湿気の多い日本なので、健康のためにも太陽に当てたいし、結構工夫が要ります。

アオサギが常盤台に？

Tさんの家には小さな池があつて金魚を飼っている。なんだか数が減ってきて、野良猫にでも取られるのかしらと思っていたら、近くの信号灯に青い笠のようなものが乗っている。よく見るとアオサギなのだ。常盤台にアオサギがいる！というので写真を撮ったり、ちょっとした騒ぎだった。

犯人が分かったので、同様の被害を受けていた家同士で連絡を取り合い、「来たわよ」というと注意するようになった。Tさんも池にネットを掛けることにした。

アオサギは一羽の時も二羽の時もあつて、どうやら荒川の方から飛んでくるらしい。常盤台には二、三年前からエサの取れない冬に出没していたが、気象変動のせいか今年も夏にも現れた。

「あんまり熱心に池の中をのぞいているので、お気の毒になってしまい、一匹百円のマジでも買ってきて差し上げようかと思いましたが、でも、そんなことをしたら常盤台に居ついてしまふので止めました。さすがに夕方には諦めてお帰りになったようです。」と、Tさんはアオサギをからかいながらも同情的だった。

常盤台公園の花づくり

異常気象とか地球温暖化のせいでしょうか、見慣れない蝶々が飛んでいます。キアゲハ、ツマグロヒョウモンなどという名前をテレビで知りましたが、昆虫は苦手ですよくわかりません。

元気に白い花を咲かせていたハマユウが枯れはじめ、根本を見たら黒と赤茶の縞模様の芋虫が、何十匹も付いていたらとTさんが見せてくれました。多分最近飛んでくる蝶の幼虫なのでしょう。

マリーゴールドの調子も良くありませんでした。チューリップとの連作が続いたので、そのせいかも知れません。そこで、今年のチューリップを植えつける前に、苦土石灰を撒いてみようということになりました。酸性度を中和しようと言わなければ。十一月十日前後には球根を植えつけます。色はまたもや咲いてのお楽しみ。

定例会 十一月十四日(土) 七時～

「ギャラリー服部」にて

次回は「ギャラリー服部」のご好意により、展示場を定例会の会場に使わせていただくことになりました。

スロープのついた一階の椅子席なので、足の悪い方もお出で願えます。気軽に参加下さい。